

記入例

印

印

捨印

### 農地法第3条の規定による許可申請書

下記農地（採草放牧地）の(に) 所有権 を 移転 したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 7年 4月 1日

(無償貸借の場合) 使用貸借権 を 設定  
(有償貸借の場合) 賃貸借権 を 設定

押印  
(認印可)

亀岡市農業委員長 様

申請者

譲渡人(貸人) 京都 太郎

譲受人(借人) 亀岡 一郎

印

印

#### 記

#### 1 申請当事者の氏名(名称)等

当事者	氏名(名称)	年齢	職業	住所	国籍
譲渡人(貸人)	京都 太郎	75	無職	京都市上京区下立売通新町西入菰ノ内町1番地	
譲受人(借人)	亀岡 一郎	55	農業	亀岡市安町野々神8番地	日本

#### 2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 m <sup>2</sup>	作付作物 及び10ア ール当た り普通収 穫高 kg	利用	所有者 氏名	所有	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
〇〇町〇〇番	田	田	1,000	〇〇	不明であれば空欄で可	京都太郎	15年	京都太郎	所有権	

#### 3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 相続により親から引き継いだが、遠方により耕作が難しいため、地元に住居する  
(貸人) 亀岡一郎氏に譲渡し、農業経営を縮小する。

譲受人の事由 今般京都太郎氏から譲受し、農業経営を拡大する。  
(借人)

#### 4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和 年 月 日 契約期間  
対価 総額 円 3.3m<sup>2</sup>あたり 円  
(賃料(年額) 円)

時期・対価が申請時点で未確定であれば「許可日以降協議」と記入してください

許可日以降協議

5 権利を設定・取得しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 ( )内には、 作付作物を記 載すること。	譲受人(借人)					
	所有地			借入地		経営地合計 (①+④) m <sup>2</sup>
	自作地 ① m <sup>2</sup>	貸付地 ② m <sup>2</sup>	その他 ③ m <sup>2</sup>	現に耕作中 の土地 ④ m <sup>2</sup>	その他 ⑤ m <sup>2</sup>	
田 ( )						
畑 ( )						
樹園地( )						
計						
採草放牧地						

事務局が記入いたしますので、  
空欄で提出してください

※ ③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

6 権利を取得しようとする者及びその労働力以外の労働力に係る労働力の状況  
 新しく農地を取得する場合、世帯員の中で年間農作業日数が「150日」以上の者を必ず含むこと（世帯員の中で最低1名）

	氏名	年齢	権利取得者との続柄	年間農作業 従事日数	農作業経験(研修) 年数
(世帯員等 構成員)	亀岡 一郎	55	本人	200日	
	亀岡 春子	50	妻	150日	
	亀岡 次郎	20	長男	100日	
	亀岡 夏子	18	長女	100日	
雇用者					
臨時雇用					

世帯員は全て記入してください  
(年間農作業日数が0日の者も含む)

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種類	農業用 自動車	トラク ター	田植機	コンバ イン	耕耘機					
既確保	1		1	1	1					
導入予定		1								

8 周辺地域との関係及び役割分担

地域の農業における他の農業者との役割分担について、具体的にどのような場面でどのような役割分担を担う計画であるかを以下に記載してください。

- ・ 農業の維持発展に関する話し合い活動の参加
- ・ 農道・水路・ため池等の共同利用施設の地域での取り決めの遵守

令和 7年 4月 1日

亀岡市農業委員会長 様

住所 亀岡市安町野々神8番地  
氏名 亀岡 一郎  
電話 0771-12-3456  
090-1234-5678

今般、下記の農地を(取得する・借り受ける)につき、農地法の遵守及び周辺地域との調和要件等において別紙誓約書を下記関係団体に提出しましたので報告します。

・誓約書提出先

1)	〇〇	土地改良区
2)		区
3)	〇〇	営農・農家組合
4)	〇〇	農業委員
5)	〇〇	農地利用最適化推進委
6)	〇〇	地区ほ場整備推進団体

誓約書の提出先

- ①土地改良区  
(対象農地が改良区域外の場合、区長に誓約書を提出)
- ②農家組合(営農組合)
- ③農業委員
- ④農地利用最適化推進委員
- ⑤(申請農地がほ場整備計画区域内の場合)  
ほ場整備推進団体

・農地の所在地

所在地	地番	地目	地積
〇〇町〇〇	〇〇	田	1,000

# 誓約書

地元関係団体の宛名を記入してください

令和 7 年 4 月 1 日

〇〇土地改良区 理事長 〇〇 〇〇様

住所 亀岡市安町野々神 8 番地

氏名 亀岡 一郎

電話 090-1234-5678

印

今般、農地を（取得する・借り受ける）ことについて、農地法を遵守し、  
このことを誓約します。

押印  
(認印可)

## 記

- 農地法の趣旨を尊重し、農地を（取得・借り受け）後は 2 年以上耕作に常時従事し、その間は転用又は転売等はいりません。
- 土地基盤整備事業、農業振興対策事業及び公共事業等が実施される場合は、積極的に協力します。
- 周辺の地域における農地の効率的かつ総合的な利用の確保に支障がないように努め、下記のような権利取得にならないようにします。
  - 集落営農や担い手への集積等により、既に農地が面的にまとまった形で利用されている地域で、その利用を分断するような権利取得
  - 水利調整について、地域の農業者が一体的な取組を行っているような地域で、このような取組に参加しない営農が行われることにより、地域における取組が阻害されるような権利取得
  - 無農薬や減農薬での付加価値が高い作物の栽培の取組が行われている地域で、農薬使用による栽培が行われることにより無農薬栽培等が事実上困難になるような権利取得
- 農業用倉庫、畜舎等の農業用施設や、農道、土留工等の耕作に必要な施設を設置する場合は、農地法の規定を遵守し、所要の手続きを経たうえで実施し、都市計画法など関係法令の規定についても遵守します。
- 農業生産性の向上を目的に、盛土など農地の地形を変更する場合は、「農地の形状変更指導要綱」を遵守し、所要の手続きを経たうえで実施します。

## 6. 連絡人（市外取得者等の場合）

住所.....

氏名..... TEL.....

## 7. 所在地

所在地	地番	地目	地積
〇〇町〇〇	〇〇	田	1,000

# 営農計画書（農業経営計画書）

令和 7年 4月 1日

亀岡市農業委員会長 様

申請者住所 亀岡市安町野々神8番地  
申請者氏名 亀岡 一郎

農地法第3条第1項の規定による許可申請を行うにあたり、許可後の農業経営の計画等については以下のとおりです。

## 1 許可後の営農計画(許可日によらず、1年間を通した計画を記載すること。)

土地の表示				栽培作物	10a当たり収穫見込(kg)	粗収見込(円)	作付け栽培管理期間											
所在	地番	地目					地積(m <sup>2</sup> )	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		登記簿	現況															
〇〇町〇〇	〇〇	田	田	1,000	水稻	〇〇	〇〇											

不明であれば空欄で可

## 2 農作業に従事する者の通作距離及び通作方法

区分	氏名	住所又は農作業の拠点となる場所(a)	(a)から申請農地までの距離(km)	通作方法及び所要時間
個人	申請者	亀岡 一郎	亀岡市安町野々神8番地(住所)	〇〇km 車 〇〇分
	世帯員等			
法人	雇用者			

注1 農作業の拠点となる場所とは、農業経営を行う法人の農作業拠点施設(宿舍等を含む。)を指す。法人であっても拠点施設がない場合は、個人と同様に農作業従事者の住所となる。

注2 世帯員等が申請者と同一住所の場合は世帯員等の欄は記載不要。

注3 雇用者が複数いる場合は、それぞれの距離及び所要時間を記載すること。ただし、同一の拠点施設から通作する場合は、代表者について場所・距離・時間を記載し、以下同様とすること。

# 営農計画書（新規就農用）

記入例 1

## 1 氏名等

(1) 氏名 京都 一郎

(2) 生年月日（年齢） 昭和・平成 50年 1月 1日 （50歳）

## 2 作付作業計画

作目名	作付面積 (㎡)	労働延日数 (日)
野菜全般	500	150日
計	500	150日

## 3 通作の方法（※通作図を添付すること）

・通作距離 5 km ・通作時間 5 分 ・通作手段 車・その他\_\_\_\_\_

## 4 使用予定農耕機

使用農機具名	利用形態
耕うん機	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)
草刈り機	既所有 ・ 所有予定 ( ○年 ×月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)

## 5 今後の収益計画

農業収益計画		主な作物名	作付面積 (㎡)
年次	収益予定額 (千円)		
1年目	900千円	キュウリ・トマト・ナス	500
2年目	900千円	キュウリ・トマト・ナス	500
3年目	900千円	キュウリ・トマト・ナス	500

## 6 その他参考事項

次の項目についてお答えください。

(1) 新規就農の動機について	
<p>父が介護を受けるようになりまして、それまで本人が行っていた農地の維持管理が難しくなり、生前贈与を受けました。</p> <p>宅地と建物、当該農地を引き継ぎましたので、実家の管理と併せ、父と同じように野菜全般を栽培しようと考えています。</p>	
(2) 農業経験等について	
<p>○農業経験 (有 ・ 無)</p> <p>○経験内容</p> <p>父の農作業を手伝っていたので、栽培を計画している野菜全般の知識はある。</p> <p>○現在及び今後の研修 もしくは 技術指導等の受講予定</p> <p>叔父叔母も近隣で畑をしているので、必要に応じて指導を受ける予定である。</p>	
(3) 収穫物の販売方法について	
<p>地元の物産展に出展を考えている。</p>	

# 営農計画書（新規就農用）

記入例2

## 1 氏名等

(3) 氏名 京都 花子

(4) 生年月日（年齢） 昭和・平成 50年 1月 1日（50歳）

## 2 作付作業計画

作目名	作付面積 (㎡)	労働延日数 (日)
野菜全般	500	150日
計	500	150日

## 3 通作の方法（※通作図を添付すること）

・通作距離 5 km ・通作時間 5分 ・通作手段 （車・その他）

## 4 使用予定農耕機

使用農機具名	利用形態
耕うん機	<u>既所有</u> ・ 所有予定 ( 年 月)
草刈り機	既所有 ・ <u>所有予定</u> ( ○年 ×月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)
	既所有 ・ 所有予定 ( 年 月)

## 5 今後の収益計画

農業収益計画		主な作物名	作付面積 (㎡)
年次	収益予定額 (千円)		
1年目	自家消費	四季の野菜	500
年目	自家消費	四季の野菜	500
年目	自家消費	四季の野菜	500

## 6 その他参考事項

次の項目についてお答えください。

(1) 新規就農の動機について	
<p>農地で作物を育てたい憧れを持っていたが、亀岡市で宅地を購入した際すぐそばに畑があることを知り、農作業によって日々をより楽しみ充実させたいと思ったため。</p>	
(2) 農業経験等について	
<p>○農業経験 (有 ・ 無)</p> <p>○経験内容</p> <p>○現在及び今後の研修 もしくは 技術指導等の受講予定</p> <p>J Aが行う研修に積極的に参加し、農業の知識を深めたい。</p>	
(3) 収穫物の販売方法について	
<p>自家消費に栽培するので、販売予定はない。</p>	